

HIDWR

兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 平成 23 年第 7 週 (2 月 14 日~2 月 20 日)

兵庫県感染症情報センター (兵庫県立健康生活科学研究所:健康科学研究センター)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

インフルエンザ

定点あたり患者数は先週の 18.35 人から今週 **12.56 人**と減少しました。新型インフルエンザ (AH1pdm) が主流の流行のピークは過ぎたと思われますが、今後は別の型 (A 香港型や B 型) の流行により患者数が増加することも考えられますので引き続き注意が必要です。地域的にみると、中播磨保健所管内で警報レベルである定点あたり 30 人以上、神戸市、姫路市、西宮市、伊丹、加古川、加東、龍野、赤穂、朝来の 9 保健所管内が注意報レベルである定点あたり 10 人以上となっています。最近 7 週間の患者の年齢分布は 5 歳未満 24%、5~9 歳 31%、10 歳代 20%、20 歳以上 26%で、20 歳以上の割合が例年 (昨年までの 4 年間は 13~18%) と比べて多くなっています。

全国的には兵庫県を含む 41 都道府県に警報レベルの保健所があり、これ以外の 4 県に注意報レベルの保健所があります。

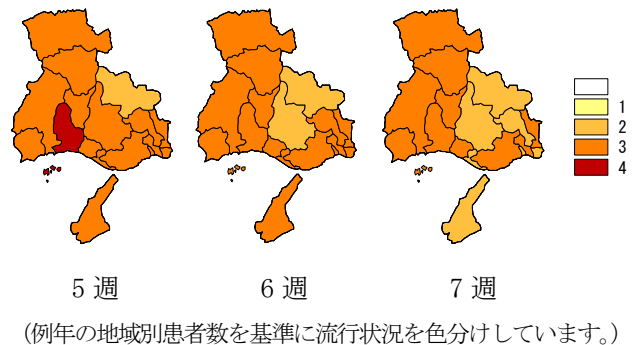
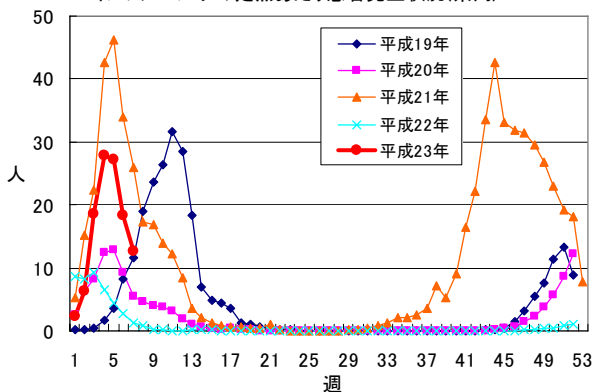
兵庫県内の学級閉鎖等 (第 7 週) の状況は、施設数 103 か所 (先週 170 か所)、患者数 797 人 (同 1,263 人)、欠席者数 763 人 (同 1,205 人) と減少しました。

兵庫県立健康生活科学研究所:健康生活科学研究センターは、今シーズン、これまでに 119 検体のインフルエンザウイルスを検出していますが、その内訳は新型インフルエンザ (AH1pdm) 108 件 (91%)、A 香港型 (AH3 亜型) 8 件 (7%)、B 型 3 件 (3%) と、新型インフルエンザ (AH1pdm) の割合が大部分を占めています。

全国で検出報告されたインフルエンザウイルスも、第 49 週以降新型インフルエンザ (AH1pdm) が増加し、A 香港型 (AH3 亜型) の検出報告数を上回っています。

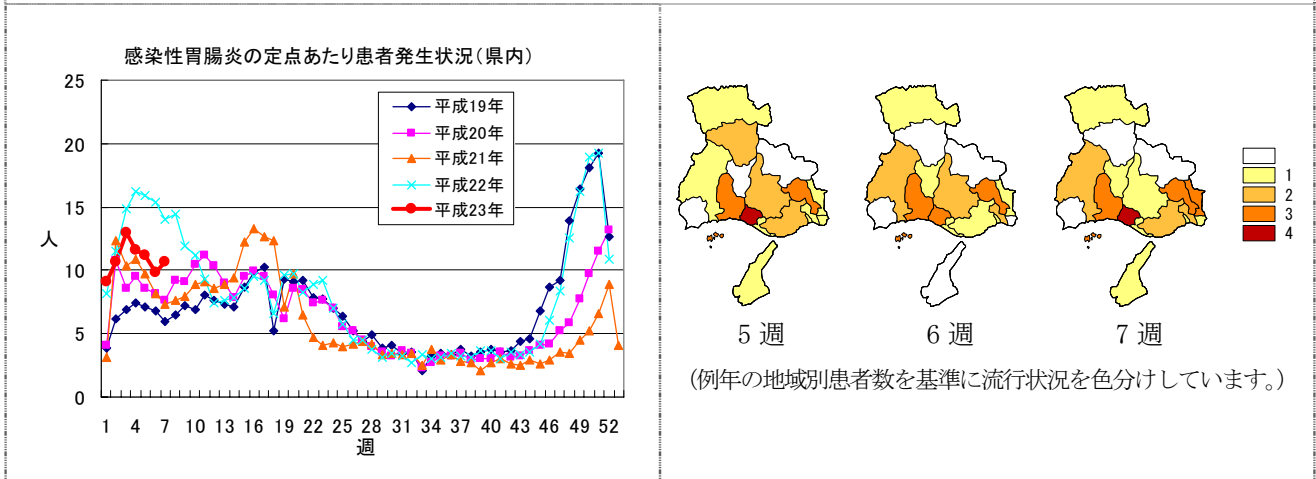
インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



感染性胃腸炎

定点あたり患者数は今週 **10.71 人**（先週は 9.83 人）と増加しました。この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの励行を基本に、吐物などの後始末を素手で行わない、二枚貝類は十分に加熱して食べるなどの注意が重要です。



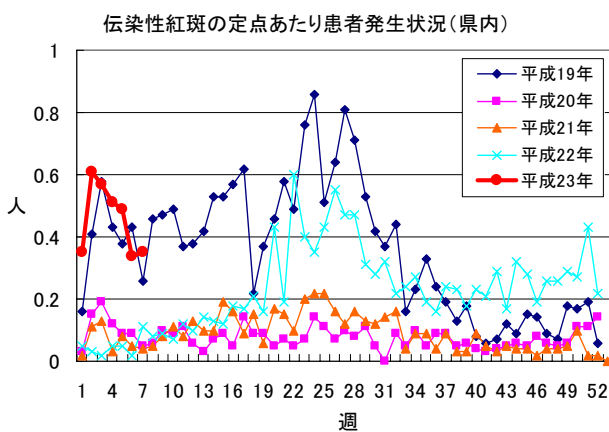
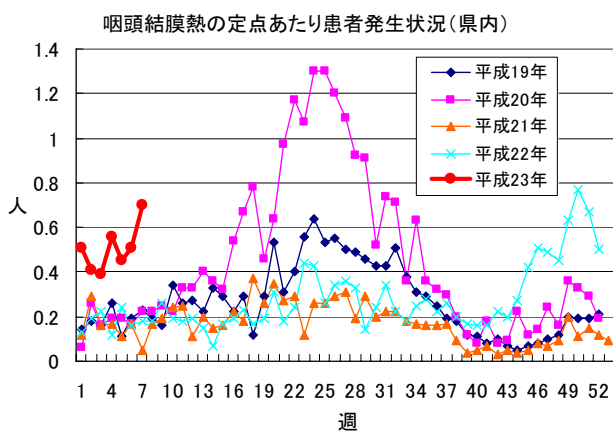
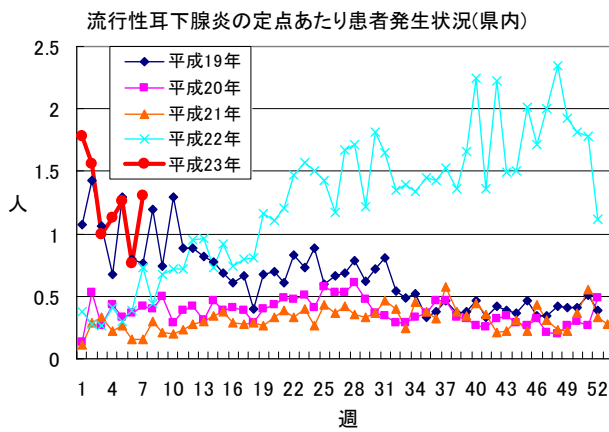
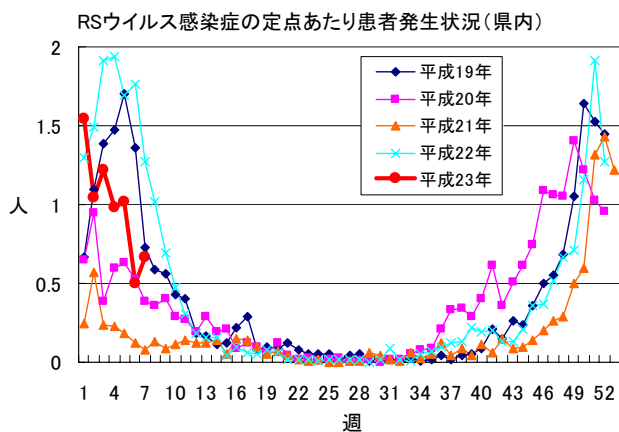
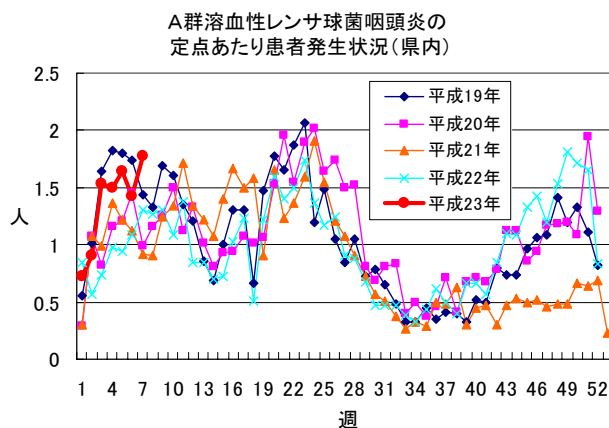
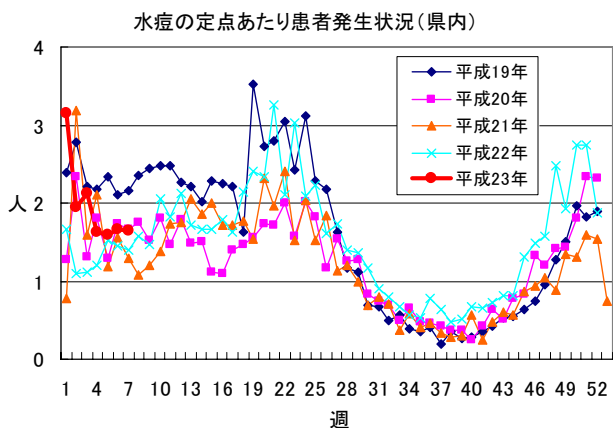
定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

| | 疾病名 | 定点あたり患者数 | | 増減 | | 疾病名 | 定点あたり患者数 | | 増減 |
|-----|---------------|----------|-------|-------|------|------------|----------|------|-------|
| | | 今週 | 先週 | | | | 今週 | 先週 | |
| 1 位 | インフルエンザ | 12.56 | 18.35 | -5.79 | 6 位 | 咽頭結膜熱 | 0.70 | 0.51 | +0.19 |
| 2 位 | 感染性胃腸炎 | 10.71 | 9.83 | +0.88 | 7 位 | RS ウイルス感染症 | 0.67 | 0.50 | +0.17 |
| 3 位 | A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎 | 1.78 | 1.42 | +0.36 | 8 位 | 流行性角結膜炎 | 0.54 | 0.43 | +0.11 |
| 4 位 | 水痘 | 1.64 | 1.66 | -0.02 | 9 位 | 突発性発しん | 0.37 | 0.46 | -0.09 |
| 5 位 | 流行性耳下腺炎 | 1.31 | 0.76 | +0.55 | 10 位 | 伝染性紅斑 | 0.35 | 0.34 | +0.01 |

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

| | |
|--------|---|
| 1 類感染症 | 報告はありません。 |
| 2 類感染症 | 結核 27 名 （神戸市 14 名、尼崎市 2 名、姫路市 3 名、西宮市 1 名、伊丹保健所管内 2 名、宝塚保健所管内 2 名、明石保健所管内 3 名） |
| 3 類感染症 | 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 （有症者 0 名） （宝塚保健所管内；O 血清群 不明 VT1+ 男性 20 歳代）（累積報告数 3 名；有症者 0 名、うち HUS 0 名） |
| 4 類感染症 | 報告はありません。 |
| 5 類感染症 | アメーバ赤痢 1 名 （神戸市；腸管外アメーバ症 男性 60 歳代 感染地域；国内、感染経路；不明）、 後天性免疫不全症候群 1 名 （無症候性キャリア）（感染地域；国内）（感染経路；不明）、 梅毒 1 名 （神戸市；早期顕症梅毒 男性 30 歳代 感染地域；国外、感染経路；異性間性的接触） |
| 追加報告 | 結核 10 名 （尼崎市 1 名、加古川保健所管内 2 名、丹波保健所管内 1 名、洲本保健所管内 6 名） |

目で見る動向（県内）



例年同時期と比較して患者数が多い。

平成 19 年と同様に例年同時期と比較して患者数が多い。

この週報は兵庫県立健康科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。
また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。